

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	2A_AT脱着	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	二級総合	日産3級整備テキスト AT編	発行日	2026.04.01
総時限	24時限		実習ノート			教科 担当
総時間	38.4時間		クロームブック	月井 悠介		
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立方法について指導する

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①オートマチックトランスアクスル（FF）の着脱が出来る。
- ②AT車のATの点検、整備が出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ①オートマチックトランスアクスル（FF）の着脱が安全に出来るようになる。
- ②AT車のATの点検、整備が出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・履修試験で評価する。履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	2A_AT脱着	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	実習導入、概要説明。				Y 1 2	10
2	トルクコンバータの構造、機能の説明 1/座学					
3	トルクコンバータの構造、機能の説明 2/座学				作業台（大）	10
4	プラネタリギヤユニットの構造、機能の説明 1/座学				パーツスタンド	10
5	プラネタリギヤユニットの構造、機能の説明 2/座学				トルクレンチ（140Nm）	10
6	プラネタリギヤユニットの構造、機能の説明 3/座学				トルクレンチ（46Nm）	10
7	AT構成部品の確認/座学				ミッションジャッキ	10
8	オートマチックトランスアクスルの着脱 1				オイルパン	10
9	オートマチックトランスアクスルの着脱 2				ソケットレンチ（36mm）	10
10	オートマチックトランスアクスルの着脱 3				ソケットレンチ（27mm）	10
11	オートマチックトランスアクスルの着脱 4				ディーブソケットレンチ（17mm）	10
12	オートマチックトランスアクスルの着脱 5				スピナハンドル	10
13	オートマチックトランスアクスルの着脱 6				ピンポンチ（4Φ）	10
14	オートマチックトランスアクスルの組み付け 1				ATFチェンジャ	2
15	オートマチックトランスアクスルの組み付け 2				フェンダカバー	20
16	オートマチックトランスアクスルの組み付け 3				フロントグリルカバー	10
17	オートマチックトランスアクスルの組み付け 4				ハンドルカバー	10
18	オートマチックトランスアクスルの組み付け 5				シートカバー	10
19	オートマチックトランスアクスルの組み付け 6				マットカバー	10
20	インヒビタスイッチ調整				サークルチェックシート	台数分
21	インヒビタスイッチ調整				作業用踏み台	1
22	AT車両の点検作業 1 ATFチェンジャの取り扱い					
23	AT車両の点検作業 1 ATFチェンジャの取り扱い					
24	AT車両の点検作業 2 油量点検					
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						